

おかげさまで創刊55周年! いい家たくさんご紹介します!

すてきな
プレゼントも!

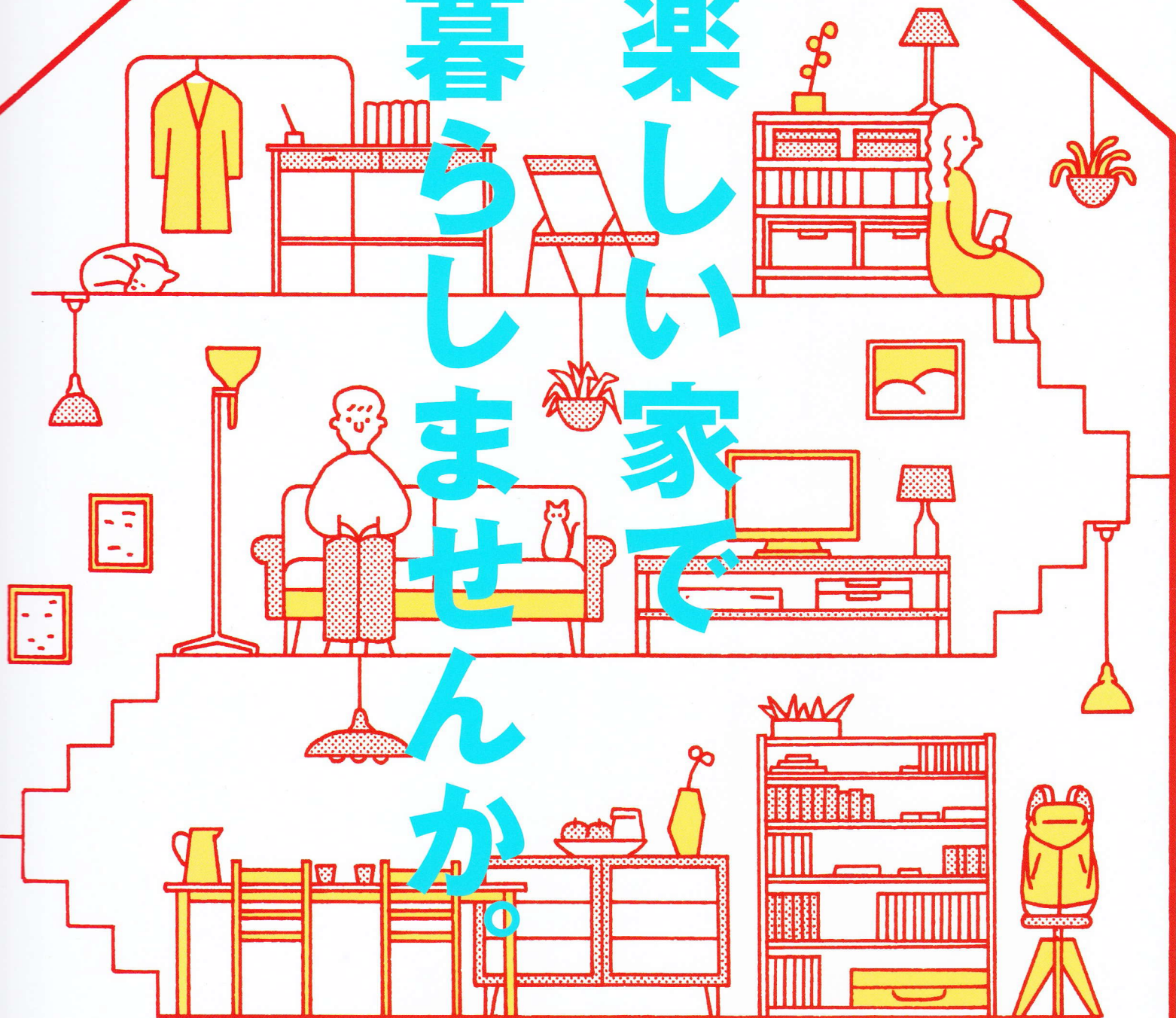
[住まいの設計]

Sumai

7→8

2016
NO.665

暮
ら
し
ま
せ
ん
か
。 楽
し
い
家
で



[第二特集]

イマドキ3階建てはこうつくる



高田工務店 -東京-

家族の笑顔と 健康のために、 温熱環境を整えた家

東京・町田市 Yさんの家

家族構成／夫59歳 妻53歳 長男27歳 長女23歳 次男17歳



1



3



2

① ダイニングの吹き抜けは高さ約5mあり、開放感たっぷり。東側を除く3方に隣家があるため、視線を遮りつつ景色を取り込めるように窓を配置した ② ダイニングの東側にウッドデッキを設置。キッチンやその奥にある洗面室と外廊下のようにつながり、洗濯物を干すなどの家事がラクに行える ③ 高窓から日が降り注ぎ、パティオのような雰囲気を出す



「東側からは遠くの山が眺められるので、高窓をつくってもらいました」と妻。下部はカウンター収納を造作して書籍類を収納。壁には飾り棚を造り付けた。床は檜、壁は珪藻土クロスに



④ ダイニングの正面の壁に造り付けた食器棚やカウンター収納はオリジナル。「食器棚は、手持ちの家具に合わせてデザインしてくれたんです」(妻) ⑤ 造作したカウンターは、どれも角が丸みを帯びたやさしいカタチ。これらの美しい曲線は、すべて職人の手仕事によって生み出されている

間取りと高気密・高断熱、空調と太陽熱を融合させて

Yさん夫妻は築16年の自邸を、「明るく、家事がしやすく、しかも、暖かくて健康的に暮らせる家にと、高田工務店の太陽熱を活用したハイブリッド・ソーラーハウスに建て替えることにした。

「工務店の高田良晃さんは私たちの思いをよく聞いてくれて、様々な提案をしてくれました」と、妻は振り返る。その一例が、普段は設計・施工を行うところを、今回の設計はスタジオ紡の林寿子さんと共同し、高田工務店は温熱環境を整える要となる施工に専念した。これにより、吹き抜けの窓から1階に日が届いて明るく、最短距離で洗濯が行える家事がしやすい間取りになった。

吹き抜けの大きな空間があるにもかかわらず、「夏も冬もエアコンはあまり使いません。冬は太陽熱を

生かした暖房があるので、服を1枚足すくらい。前の家はコタツから出られなかったほどなのに」と妻は、高気密・高断熱や太陽熱などによる「家の力」を実感。夫は、「アレルギーがでなくなりました。それに、部屋間の温度差がないので移動がラク。家族が自然とLDKに集まるように」と、24時間空調などによる快適性を語る。

太陽熱を暖房や給湯に生かすことで、電気や水道の消費エネルギーも減ったそう。「環境にもやさしい暮らしができています」と、夫妻は満足そうに笑った。



ダイニングの大黒柱に壁をつくり、リビングを寝室に替えれば、1階だけでも暮らせる間取りだ



① 2階は、主寝室や子ども室のほか、吹き抜けと一体化した畳コーナーを配置。「吹き抜けに取り付けた高窓も、キャットウォークを歩いて窓まで行けるので掃除しやすい」(妻) ② 勾配屋根の形状を生かした主寝室。西側以外の3面に窓を取り付けたことで、明るくて快適

[CHECK POINT]

梁に使うのは珍しい檜で、木の組み合わせを楽しむ

住まいの強度を保つのに、2階の床部分を支える梁は重要な構造材のひとつ。Y邸では、杉の梁で十分なところを、さらに粘りのある檜を採用し、檜の床と揃えた。



[MY FAVORITE]

1階から吹き抜け天井へとまっすぐに伸びる大黒柱

「家の中心となるダイニングにあって、天井までスッと伸びる大黒柱が、気持ちいいですね。見るたびに、家を支えて守ってくれているんだな、と思います」(夫)。大黒柱は木肌の美しい杉。



大きな吹き抜けが
明るさと開放感をもたらす



畳コーナーから続くキャットウォークは、すのこ状にすることで、2階の光を1階まで届ける。吹き抜けの手すりも壁のない格子状に。「ここで布団も干せるので便利です」と妻



壁一面に書棚を造り付けた畳コーナー。廊下側にも手すりを兼ねた本棚を。「時間がきたら、じっくり読書を楽しみたい」(夫)



洗面所は広く取り、天井に物干しポールを付けた。洗濯機の近くなのですぐに干せ、仕事を持つ妻にとって心強い味方に

[高田工務店]

住宅の高断熱化と、太陽熱を供給・暖房に利用するシステム「ハイブリッドソーラー」を組み合わせ、自然素材と手づくりにこだわり「自然の風・太陽・水と共存した健康住宅」「明るく健康的に、家族や友人に開放的な住まい」をテーマにして家づくりに取り組んでいる。会社の敷地内に作業場があり、大工の手による加工、造作の質の高さにも定評がある。

DATA

社名/高田工務店

代表/高田良晃

住所/〒206-0811

東京都稲城市押立870-3

☎042・377・5359

年間建築棟数/新築4棟

社員数/5名

建築地域/東京都、神奈川県、埼玉の一部

設立/1963年5月

定休日/日曜

アフターメンテナンスの対応

・竣工後、1年、3年、5年、10年目に点検を実施



自邸に隣接する高田工務店の作業場にもソーラーパネルを設置。ここで得たエネルギーは高田邸に供給されている

COMMENT

私たちはお客さま、設計、工事の関係をタテの組織と考えていません。お客さまやデザイナー（建築家）の発想を経験豊富な職人とともにじっくり意図を聞き、職人の発想とからめたヨコの関係を大切に考えています。



高田良晃

1960年東京都生まれ。工学院大学建築学科武藤章研究室を卒業後、総合建設業に就職、企画・設計に携わる。その後、「創造空間」という理念を掲げ現在に至る

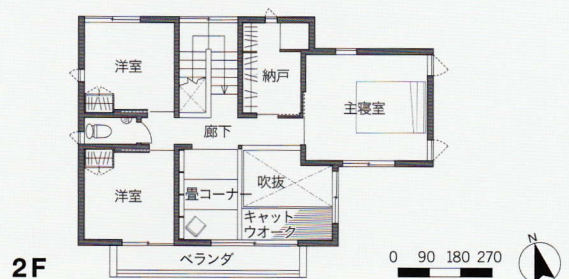


③「庭の手入れがしやすいように」と、テラスコーナーは土で固め、古レンガをアクセントに取り入れた。植栽コーナーでは、ハナミズキやジュンベリーのほか、グリーンなどを植えている

④妻が丹精込めて育てた花が庭を美しく彩る ⑤愛情たっぷりに育てられた、色つやのよいサヤエンドウ。家庭菜園でつくった野菜たちが、家族で囲む食卓に登場する



⑥玄関ホールの引き戸は、ガラスと板をはめ込んだものと網戸入りの2種類がある。夏は網戸入りの扉で通風を促し、冬は写真のように、網戸のない扉で玄関を開ける際の寒気を防いでいる ⑦「外壁の色は柔らかな白系を選びました」（妻）というY邸は、蓄熱コンクリートの土台の上に建ち、外気温の影響を抑える工夫が施されている



DATA

敷地面積/150.08㎡(45.48坪)

延床面積/99.98㎡(30.30坪)

1階/52.58㎡(15.93坪)

2階/47.40㎡(14.36坪)

用途地域/第1種低層住居専用地域

建ぺい率/40%

容積率/80%

構造/木造軸組工法

本体工事費/2650万円

竣工/2014年11月

INSTRUMENTS

キッチン/タカラスタンダード

窓・サッシ/LIXIL

LDの照明器具/オーデリック

